

みんなの声を活かす意見公募手続の結果公表

様式 3

案件名「(仮称) 富士山の恵み産業パーク基本構想」(案)

「(仮称) 富士山の恵み産業パーク基本構想」(案)に対し、ご意見をいただきありがとうございました。出された意見の内容（概要）及び意見に対する市の考え方は以下のとおりです。

みんなの声を活かす意見公募手続の結果

1	意見提出者数	102人	
2	提出された意見の数	90件	
3	意見の反映状況		
①	反映した意見	6件	
②	既に盛り込み済みの意見	0件	
③	今後参考とする意見	77件	
④	反映できない意見	7件	
⑤	その他（質問等）	0件	
4	意見の反映状況一覧		
No.	意見の内容	市の考え方	反映結果
1	近隣市町村では設置されていますが、市内にはストリートピアノの設置が無いので、富士山との景色に調和する形で、ピアノを設置できれば唯一無二となると思う。	本施設の整備予定地は、富士山の眺望が大変良好であり、基本構想 5.2（2）のアンケート結果のように「富士山の一望できる展望施設・撮影スポットがある」が、観光客や市民から多く要望されております。 ストリートピアノの設置は、地域の文化振興や音楽を通じた交流の場の創出などにもつながるため、今後、ピアノの維持管理やメンテナンス等を含め、総合的な視点で検討していきます。	参考とする意見

2	御殿場市内には四つ星クラス以上のホテルがないため、富士山の眺望をうたったハイクラスホテルの誘致をして欲しい。	本事業は、地元の農産物や特産品の販売、観光情報や文化・歴史の発信等をはじめ、地域コミュニティの創出や防災機能など、道の駅的な要素も併せ持つ施設を計画しております。 また、周辺住民の生活環境への影響等を考慮し、夜間運営は想定していないため、計画敷地内へのホテル整備は運営上難しい状況であります。	反 映 で き ない 意 見
3	本施設整備に伴い、周辺の飲食店の活性化も必要であるため、本施設内への事業者の出店を促すような仕組みを作って欲しい。	本施設は、地元の様々な魅力を発信する場であるため、地域全体での協力体制を築くことが不可欠であります。 今後、市内の企業・団体等へのニーズ調査などを、引き続き実施し、事業スキームの構築の中で連携・協力体制の方法を検討していきます。	参考とする意見
4	市体育館に以前存在した人工壁クライミングボードを設置するなど、富士山に関連するような登山コンテンツを設置して欲しい。 近隣市町には、屋内外のクライミング施設があるものの、御殿場エリアには存在しないため、登山用品店の誘致や、レンタルショップなどがあっても良いと思う。	富士山は日本を代表する日本一の山であり、富士山の麓に位置する本市には、毎年、多くの登山者が訪れます。 そのため、本施設に登山に関連するコンテンツを導入することは、魅力的な施設整備につながる可能性があるため、今後、維持管理やメンテナン	参考とする意見

		ス、安全性、収益性等を含め、総合的な視点で検討していきます。	
5	以下の設置を要望します。 ○RVパークの整備（防災対応可） ○バスターミナル機能（バスタ御殿場） ○物販の免税店機能 ○体験乗馬拠点 ○日帰りトレッキング拠点（金時山、双子山） ○道の駅 御殿場 I C 足柄 S A 御殿場プレミアム・アウトレット 御殿場駅の無料巡回バス ○足柄 S A 新御殿場 I C への抜け道の市道整備（御殿場線下アンダーパス） ○静岡空港との連結（定期直通バス便）	本施設へのアクセス性を高めることは、市民や観光客の利便性向上はもとより、集客力の高い施設整備を目指す上では、大変重要であります。 今後、市内外の巡回バスや高速バス等が、本施設への立ち寄れるルートを積極的に検討し、市内全域の観光振興や利便性の向上を図っていきます。 さらに、外国人観光客の増加に伴うインバウンド対応や魅力的なアクティビティなど、多くの来訪者に満足していただけるような導入機能を検討していきます。	参考とする意見
6	今回の沿道利便施設のような公主導の大型ハコモノ施設は目論見が外れて赤字を垂れ流す事例は仄聞する。 見通しが甘い計画ほどこの危険性は増すが、本施設の基本構想（案）から伝わるのは、必要性があってでてきた沿道利便施設（案）ではなく、ハコモノを作りたいというところから逆算しての基本構想を練ったものである。 薄い基本コンセプトや、内容の具体性の無さなどにそれは現れているが、このようにして作られた施	防災拠点となりうる大型の観光・商業施設を集約させることは、本市の総合防災計画や地域経済の活性化に影響を与える可能性があります。 大型の観光・商業施設を市内各所に点在させることにより、観光客を市内全域に回遊させ、各施設を点から線、そして面を形成することにより、「御殿場型経済・観光活性化」に繋がると共に、被災リ	参考とする意見

	設が赤字経営となっても、その責任を負う現市長はもうおらず、市民の負債が残るだけである。 赤字施設とならないように体育館２棟程度のメッセ型施設を併設することにより、交通の利便性も考慮すると黒字施設となると思う。	スクの分散や、強固かつ広域的な防災計画が可能となります。 また、地域のニーズを十分に調査し、市民や観光客が本当に求めるサービスを提供することが、健全な施設運営をしていく上で、大変重要であると認識しております。 今後、運営面においては、豊富な経験と高い専門知識を有する民間事業者等から広く提案を求め、優れた企画力や経営力のある運営事業者を選定し、地域の特性やニーズに応じた健全な運営を目指していきます。	
7	鮎沢川に隣接している小山町の足柄ふれあい公園や、役場横の様に水に親しむ事ができる、親水公園的な施設にして欲しい。 また、川の駅上野(群馬県上野村)に併設されている上野村漁業協同組合の様な施設や、ビオトープを設置して欲しい。	本施設は、富士山の恵みである「水」を、基本コンセプトの柱にしており、今後、施設利用者が、富士山の恵みである「水」を体感し、憩いの場となるような場所を、周辺環境を含め、施設全体の配置計画を進めていく中で、検討していきます。	参考とする意見
8	御殿場市は富士山を基点に分水嶺黄瀬川⇒狩野川⇒駿河湾(静岡県) 鮎沢川⇒酒匂川⇒相模湾(神奈川)の生態系(自然環覧)の違い等がわかる様な自然豊かな環境や歴史(牛淵の雨乞い祭)のPR、維持をして欲しい。	富士山を基点とした東西へ流れる各清流には、多くの魚類や生物類、植物類などが生息し、自然豊かな環境が広がっております。 今後、それぞれの水系が	参考とする意見

		持つ特有の生態系の観察や自然環境、歴史・文化などをPRできるような活動の場の提供を検討していきます。	
9	5G SA×AI ドローンによる自動運航で、観光・防災・農業の三位一体型エコシステムを実現して欲しい。 御殿場市の未来を切り拓く（仮称）富士山の恵み産業パークの整備計画に drone in a box システムを活用した新時代に貢献することができると思う。	本市は、エコガーデンシティ構想に基づき、産官学金の連携による優れた環境と景観のまちづくりを推進しております。 本施設整備において、様々な先端技術やデジタル技術を導入することは、本市の未来を切り拓き、持続可能なまちづくりにとって重要であり、今後、効率的かつ効果的な方法で、市民や観光客にとって魅力的な技術や環境づくりを提供していきます。	参考とする意見
10	本施設が、本市にとって、御殿場プレミアム・アウトレット以来の目玉施設となるよう期待する。 市内外から訪れるお客様の話題となるように、御殿場のロケーションを活かし、富士山を綺麗に眺めることができる施設整備をして欲しい。 また、富士山を眺めながら食事が出来るレストランの設置をして欲しい。	5.1（1）「基本理念とゾーニング」のとおり、「いきいきゾーン」の導入機能としてレストランやカフェなどの設置をイメージしています。 施設の整備予定地は、富士山の眺望が大変良好であるため、その景観を最大限に活かした飲食店等の整備を前向きに検討していきます。	反映した意見
11	ゆらゆらゾーンでは、自然を楽しみながら乗馬体験ができれば良いと思う。	「ゆらゆらゾーン」はゆっくりと心和む癒しの場をイメージしています。	参考とする意見

	同じコースを周回するのではなく、乗馬専用の散歩コースや、景色の変わるコースで乗馬体験できれば、若い人にも人気が出ると思う。	乗馬体験は、専門知識や経験、安全性の確保など、楽しいプログラムを提供できる環境づくりや運営体制が必要となります。今後、自然を楽しみながら来訪者の心が和み、癒される御殿場らしい、御殿場独自の体験づくりを検討していきます。	
1 2	わくわくゾーンでアーティストを呼び、フェスを開催することにより、観光客が市内に滞在し、地域経済が活性化すると思う。 フェスでは、高校の吹奏楽が出演したり、自衛隊の音楽隊とのコラボ演奏など、様々な音楽イベントを開催すると良いと思う。	「わくわくゾーン」は御殿場ならではの心躍る体験や活動の場をイメージしています。 地域のお祭りやイベントはじめ、フェスなどの大型イベントの開催など、多くの方が楽しめ、本施設が満足できる体験や、活動の場となるよう検討していきます。	参考とする意見
1 3	御殿場は、徳川家康公ゆかりの地であるため、施設内に歴史的な建物や街並みを整備することで、和が好きな外国人観光客や、御殿場を知らない人達が興味を持ち、集客力の増加や、魅力的な施設整備につながると思う。	徳川家康公をはじめ、本市にゆかりのある歴史・文化を活かした施設整備は、観光資源のひとつとして、外国人観光客や御殿場を知らない方々に対し、本市を深く理解していただく機会を創出できる方法と考えています。 今後も、インバウンド需要を見込み、外国人観光客に人気の「和」の文化を体感できるプログラムなどを検討していきます。	参考とする意見

14	御殿場は昼間に滞在する人が多いので、季節に合った夜のイベントを開催して欲しい。 また、気球に乗ったり、七夕は竹と短冊などを展示してライトアップしたり、夏や秋には、ランタン祭りを開催して、神秘的な空間づくりを検討して欲しい。	夜間や季節に応じたイベントを企画・開催することで、訪れる方々に新たな体験を提供し、リピーターの増加にもつながると考えております。 本施設は、通常、夜間運営を想定していませんが、季節ごとの企画イベントの開催などを、今後の運営計画にて検討していきます。	参考とする意見
15	御殿場の特産品であるみくりやそばを手作り体験できる場所を整備して欲しい。 特に、外国人観光客に人気の和食を体験することで、SNSなどの口コミにより、新たに興味をもった観光客が本市に訪れ、賑わうと思う。	「じわじわゾーン」において、御殿場らしさを体現する地域ブランドを創造する場をイメージしています。 本市の特産品のひとつであるみくりやそばを手作りできる、御殿場ならではの体験は、施設の魅力を向上させるだけでなく、地元の食文化を次世代へ継承すると共に、SNS等の情報発信により、本市の観光振興や地域振興に寄与すると考えています。	参考とする意見
16	高校生が遊び、集う場所のひとつとして、本施設へ訪れる可能性があるため、車の運転ができない人でも行きやすいように、無料シャトルバスを運行して欲しい。	本施設は、子どもからお年寄りまで、多くの方にご利用いただきたいと考えています。 今後、市内外の巡回バスや高速バス等が、本施設への立ち寄れるルートを、料金設定を含めて検	参考とする意見

		討していきます。	
17	芝生のところにハンモックエリアを整備することで、お昼寝や休憩など憩いややすらぎの場となり、子どもから大人まで、家族で楽しめる施設になると思う。	芝生など豊かな自然環境の中でのんびりと過ごすことは、心身ともにリフレッシュできる効果や、親子の触れ合い、ゆっくりと長時間滞在しやすい効果が期待できると考えています。 今後、御殿場ならではの体験や活動の場となる「わくわくゾーン」の有効な活用方法を、様々なニーズ調査を進めながら検討していきます。	参考とする意見
18	お1人様カフェなどを整備することで、本施設へ1人でも来訪しやすくなると思う。	本市は、誰一人取り残さない持続可能な共生社会の実現を目指していますが、本施設においても、多種多様なニーズに対応でき、インクルーシブな施設整備を目指していきます。	参考とする意見
19	全てのゾーンを体験してもらうことが、御殿場をより知っていただく方法であるため、施設内の回遊性を高めるためのスタンプラリーなどを実施し、成功者には買い物の割引券をプレゼントするなど、施設運営上の工夫をした方が良くと思う。	来訪者に施設内の様々な体験や利用を促すことは、購買意欲向上や消費促進につながります。 今後、デジタル技術も活用して施設内を回遊する仕組みや、SNSとの連携による施設イベント情報発信等、集客効果を高める方法を検討していきます。	参考とする意見

20	施設内に、見映えの良いスポットを整備することで、若者が興味をもち、SNS発信により、本施設のPRにつながると思う。	見映えの良い場所の設置は、若者層をターゲットにした観光促進策として効果的であり、SNS等による情報発信が、観光地としての知名度を高める手段として重要視されています。 今後、富士山をはじめ、御殿場の美しい自然景観を背景にしたフォトスポットなど、来訪者が思わず立ち寄りたくなるような魅力的な場所づくりを、前向きに検討していきます。	反映した意見
21	平日や祝日によって、異なるイベントを開催することにより、その都度、多くの人が集い、様々な交流の場を創出すると思う。	平日と祝日で異なるイベントを企画することは、市内外の来訪者に期待感を持たせ、自然と足を運びたくなるような魅力的な施設となります。 施設運営については、地域全体で本施設に関わりながら盛り上げる仕組みを構築することで、地域愛が育まれ、来訪者にとっても楽しく、温かい雰囲気を感じる場所づくりを目指していきます。	参考とする意見
22	5つの各ゾーンを、周回できる乗り物などを整備することで、子どもが喜び、施設の収益にもつながると思う。	子どもたちが楽しめるアトラクションは、家族連れの来訪を促進すると考えています。 自由な移動が可能なモビリティなどの整備は、施	参考とする意見

		設全体を知る機会や各ゾーンの賑わいを創出しますが、今後、費用対効果等を含め、総合的に判断していきます。	
2 3	御殿場出身の芸能人や御殿場のマスコットキャラクターなどを活用し、施設の認知度を上げると良いと思う。	著名人をはじめ、ゆるキャラやマスコットキャラクターは、地域のアイデンティティを象徴する存在として、親しみやすさや、施設の認知度向上に非常に効果的であると考えています。 今後、来訪者の記憶に残るイベントや、リピーターの獲得にもつながる仕掛けづくりを検討していきます。	参考とする意見
2 4	デジタル地域通貨「富士山Gコイン」を活用した施設運営をして欲しい。	デジタル地域通貨「富士山Gコイン」は、本市独自のデジタルポイントを付与し、地域課題の解決と地域の経済活性化を図っています。 施設運営には、「富士山Gコイン」が利用できるシステム導入を進めていきますが、今後、様々な活用方法を検討・展開し、地域経済の中心的役割を担う施設整備を目指していきます。	反映した意見
2 5	多様性に考慮し、トイレをジェンダー配慮した整備をして欲しい。	トイレを含め、本施設整備は、バリアフリー対応やユニバーサルデザインへの配慮、外国人観光客	反映した意見

		向けの多言語表示など、多様性を尊重し、すべての人が安心して利用できる環境づくりを目指していきます。	
26	今後も施設整備計画に向けたアンケート調査を実施し、その都度、改善点や良いところを把握することで、より良い施設整備につなげて欲しい。	本施設は、多くの市民の皆様にご利用されることが想定され、地域住民や利用者の意見を反映させることは、施設整備を推進していく上で、大変重要であります。 今後も様々なニーズ調査を継続しながら、単なる意見収集だけでなく、施設整備に向けた市民参加型のワークショップの開催なども計画し、利用者目線で施設整備を推進していきます。	参考とする意見
27	本施設のInstagramを作り、魅力を情報発信することで、来訪者の増加につながると思う。	Instagramを活用することは、視覚的な情報などを多くの人々にアプローチでき、施設の魅力を効果的に情報発信するために非常に有効な手段であります。 施設運営には、SNSを活用した様々な情報発信を強化し、多くの人々が、本施設へ訪れるきっかけづくりを検討していきます。	参考とする意見
28	御殿場コシヒカリが有名にも関わらず、米価格の高騰で米を食べる機会が減り、米農家が減少してい	2.1(4)産業「御殿場市の農業」の通り、お米は、本市の農業算出額の	参考とする意見

	る状況を改善するため、観光客向けの米作り体験を提案したい。 この体験によって、米作りの大変さを知り、農業に関心・興味をもつきっかけづくりができると思う。	割合が1番高く、御殿場コシヒカリは、品質の高さから多くの人々に愛されています。 基本理念である5つのキーワードの『うるおう』や「しみこむ」から、御殿場コシヒカリの広報や販売、農業体験などを通じて、食育や農業への関心を高め、本市の農業振興にも寄与できる方法を検討していきます。	
29	富士山の形や、御殿場のキャラクターなどをモチーフにしたパンを開発・販売することで、御殿場の魅力が増し、特に、小さい子ども達に人気がでると思う。	5.1(1)「基本理念と基本ゾーニングの考え方」の通り、「いきいきゾーン」にて、地域や来訪者が「うるおう」空間づくりを目指し、レストランやベーカリーなどの導入機能をイメージしています。 今後、地元の様々な農産物や食材を使った御殿場らしい、御殿場ならではのオリジナル商品を開発・販売し、施設の魅力向上につなげる方法を検討していきます。	参考とする意見
30	わくわくゾーンに人工のせせらぎを整備することにより、子どもたちが、御殿場の水の良さを実感することができると思う。 また、夏には冷たい水、冬には温水を流すことで、年間を通して、快適に楽しむことができると思	せせらぎの整備は、子どもたちにとって、御殿場の水をより身近に感じ、教育的な観点から貴重な体験の場となります。 また、夏期には冷たい水に触れ、冬期には温水を	参考とする意見

	う。	流すことにより、年間を通じて多様なアクティビティを提供できる可能性があります。今後、安全性や水質管理などを含め、総合的な視点で検討していきます。	
3 1	御殿場のきれいな水の中で魚を展示し、えさやり体験や撮影スポットや釣り堀を設置して、多世代で楽しめ、癒される空間を整備して欲しい。	整備予定地周辺の河川に生息する魚類や生物類などの展示は、子どもたちが自然に親しみ、地元の生態系について学ぶ環境教育のきっかけづくりとなります。 今後、富士山の恵みである「水」をテーマにした様々なコンテツを検討し、多世代で楽しめ、ゆったりと心和む空間づくりを目指しています。	参考とする意見
3 2	子育て世代にとって、御殿場には広い公園や遊び場が少ないと感じ、市内の公園の遊具は老朽化が進んでいるため、敷地内に遊具をたくさん整備して欲しい。	敷地内に遊具を整備することは、子育て世代にとって大変魅力的な機能であり、子どもたちの成長や地域のコミュニティ形成にも寄与します。 今後、子どもたちが安全に楽しく遊べるような遊具や、年齢別に適応した遊具の整備を検討し、多様なニーズに対応していきます。	反映した意見
3 3	支所機能を併設して欲しい。 現在、御殿場市には5つの支所があるが、人口密集地である新橋、東田中区には行政機能を持った役	多くの集客が見込める本施設は、地域振興や観光促進の重要な拠点であり、施設内に行政機能を	反映できない意見

	所がないため、結果、本庁での手続き業務が多いと感じる。 したがって、本施設内に支所機能を持たせることで、業務の分散、効率化が望めると思う。	持たせることは、施設の目的や性質上相反し、施設利用者の混雑や利便性に影響を及ぼす可能性があります。 現在、本市ではDX推進の観点から、オンラインでの手続きや様々な情報提供に努めており、今後も、デジタル技術を活用した市民サービスの向上を図っていきます。	
34	防災「物資」拠点として整備することで、巨大地震や富士山の噴火の際に、国道138号や国道246号を用いて市内全域に物資を届けられることができると思う。	4.2(3)「整備予定地周辺のハザード状況」の通り、整備予定地周辺は、土砂災害、洪水、浸水、溶岩流などいずれも警戒区域に含まれていません。 したがって、本市の防災拠点としてのポテンシャルは高く、総合的な防災機能を発揮できると考えています。	参考とする意見
35	市内には、市民が利用できる会議室は「ふじざくら」や「きよてんば」などがあるが、「シェアオフィス」として利用できる場所がないため、施設内に整備して欲しい。 「シェアオフィス」を整備することにより、ローカルベンチャーなどを誘致でき、本市の経済発展につながると思う。	「シェアオフィス」は、比較的静かで、落ち着いた環境が求められますが、本施設には多くの人々が集い、賑わう施設であるため、快適性を維持することは容易ではありません。 また、整備予定地には、各種法令や制度の規制により利用用途の制限があり、現時点では「シェア	反映できない意見

		オフィス」の整備は難しい状況と考えます。	
36	「ゆらゆらゾーン」にサウナやロウリュウ岩盤浴などを整備し、湧き水などで体を冷せる場所を設けることで、デイキャンプやサウナ好きの人が集まり、健康志向にも配慮したサービスが提供できると思う。	近年、健康志向の高まりにより、リラクゼーションや健康促進を目的とした施設の需要が増加し、心身のリフレッシュや、ストレス解消に効果的であると思われます。 「ゆらゆらゾーン」は、心和む空間づくりを目指し、今後、本市ならではの体験による地域ブランドの向上に資する整備計画を検討していきます。	参考とする意見
37	大阪万博で公開された乗り物を整備することにより、お年寄りや様々な世代で、市内観光がしやすく、簡単に移動できる環境づくりを実現できると思う。	人口減少や少子高齢化が進む中で、新たな次世代モビリティ等の導入は、環境負荷の低減や、交通渋滞の緩和など、持続可能なまちづくりや地域の発展に寄与します。 「大阪・関西万博」で公開された次世代モビリティ（空飛ぶ車）は、先進的な交通手段として、現在、研究及び実証実験中の最新技術であり、今後、技術的な課題や安全性の確保、法的な整備等の状況を鑑みながら、費用対効果等を含めて総合的に判断していきます。	参考とする意見
38	基本構想の地域ニーズアンケートでは、全ての世代で1位だった「御殿場市の特産品や食材を買うこと	本施設で購入した特産品や食材等をその場で味わえる体験は、観光客にと	参考とする意見

	ができる」という機能が求められているため、購入した特産品等をバーベキューなどで味わうことができる場所を整備して欲しい。 安くて美味しい御殿場の特産品をその場で食べてもらうことで、再購入のきっかけづくりとなり、施設の収益増加につながると思う。	って大変魅力的で、満足いただける機能のひとつであると考えます。 今後、地元の新鮮な食材や特産品などを活かした様々な機能を検討し、地元住民と観光客の交流促進や観光振興につなげ、地域経済が潤う施設整備を目指していきます。	
39	ＵＦＯキャッチャーやガチャガチャなど、遊びの要素を盛り込んだ手軽に楽しめる機能を導入することにより、観光客が御殿場の食材や料理を食べるきっかけづくりになるような方法を検討して欲しい。 このような手軽な機能を導入により、子どもから大人までが楽しめ、食べた食材や料理の解説やＰＲをすることにより、御殿場への興味や理解が深まると思う。	遊びの要素や手軽に楽しめる機能の導入は、子どもから大人まで幅広い世代に受け入れられ、御殿場の魅力を引き出す一助となる可能性があります。 今後、来訪者が御殿場の食文化に手軽に触れ、地元の食材や料理などに興味を持ち、味わうことができるきっかけづくりを検討していきます。	参考とする意見
40	自然を活かしたアスレチックなどの楽しめる場所を作ることにより、自然の美しさに興味を持つ人が増え、観光客や市民にとっても楽しめ、満足感が得られる施設整備になると思う。	富士山をはじめ、地域の自然や景観を活かした観光資源の整備は、来訪者に新たな体験を提供し、本市の魅力を感じられる重要な機能であります。 今後、来訪者が本市の自然と触れ合い学べる環境や、自然との一体感を感じられる機能を検討し、多くの方が楽しめ、満足していただける施設整備を目指します。	参考とする意見

4 1	御殿場といえば富士山であり、市内には遮蔽物なしで富士山を見ることができる場所が少なく、朝、昼、夕、様々な富士山を見ることができる場所を整備することで、他県や海外から来る観光客には、魅力的だと思う。 展望台や温泉なら、映えを求めている若者や、ゆったりとした時間を求める高齢者まで幅広く需要があると思う。 展望台は多くの集客力が見込まれ、温泉は、家族風呂などを作れば、家族にも人気が出ると思う。	本市は、富士山の美しい景観を享受できる地域であり、朝、昼、夕と異なる表情を見せる富士山は、多くの人々に感動を与えます。 特に、整備予定地は、富士山の眺望が大変良好であり、その魅力を最大限に引き出すことは、観光振興において重要な要素と考えておいます。 今後、本市が持つ自然環境や資源等を最大限に活用し、心和む環境づくりや癒される空間づくりなど、多種多様なニーズに応えられる施設整備を目指してまいります。	参考とする意見
4 2	わくわくゾーンに、けやきかんのような勉強スペースを作ること、で、学生の利用促進につながると思う。	本施設は、本市の魅力や、地元の歴史や文化、産業などを学ぶ貴重な場となります。 学生の学びや交流の場として活用できる環境づくりや、地域をよく知り、理解を深め、地域愛を醸成できる場として、気軽に立ち寄れ、訪れやすい場所づくりを検討していきます。	参考とする意見
4 3	自衛隊の駐屯地の特徴や活動などを、体験できるスペースを作りたい。 また、市内の高校など、学校主催のイベントを開催したい。	本施設は、御殿場らしさを体現し、地域のブランドを創造する場の提供や、地域コミュニティの強化に寄与します。	参考とする意見

	御殿場の様々な魅力や歴史などを詳しく知れるようなブースを設置することにより、御殿場に初めて来た人や、御殿場をよく知らない人に、理解を深めてもらえると思う。	また、御殿場ならではの様々なイベントを、市内の企業・団体等と協力・連携して開催することで、来訪者が御殿場について学び、興味・愛着を持つきっかけを提供し、多世代交流や地域活性化につなげていきます。	
4 4	ガソリンスタンドを整備すれば、高速道路のサービスエリアのように、給油ついでに施設に立ち寄りやすく、施設利用者の便利向上につながると思う。	整備予定地の周辺には、民間事業者が経営するガソリンスタンドが点在しており、本施設への併設は、既存店舗の営業を妨げてしまう恐れがあることから、現時点では整備を計画していません。	反 映 で き な い 意 見
4 5	いきいきゾーンに、高齢者や妊婦、負傷者などが、優先的に利用できる席を設けて欲しい。	全ての来訪者が、快適で安心して利用できる環境整備は、本施設の魅力向上につながります。 今後、施設内のバリアフリー対応や多様性にも配慮し、「誰もが安全に安心して暮らせるまちづくり」の実現に向け、多くの人に愛される施設整備を目指します。	参考とする意見
4 6	御殿場の特産品だけではなく、小山町や裾野市、長泉町など、周辺市町の特産品の販売や、食事もできるようにして欲しいです。	本施設には、周辺市町や観光交流協定の締結市町をはじめ、静岡県との連携を検討しています。 今後、本市以外の特産品の販売や体験づくり、観光情報の発信など、本市を訪れる多くの観光客	参考とする意見

		を、市内のみならず、県全域への回遊を促進し、県全体の地域経済の活性化を目指しています。	
4 7	アンケート結果に「駅前の市街地から遠いので経済効果は御殿場プレミアム・アウトレットと同様に目的地のみに限定されると思う」「マーケットポテンシャルはあるが、隣接するマーケットの既存店舗とのバランスを調査する必要がある」という結果があるが、抽象的な意見が多いと感じる。 駐車場の面積を確保する必要があるが、現時点で他のスペースが広く、魅力的に感じない。 物販スペースを広く確保し、芝生は子どもが運動や遊べるようなスペースを確保して欲しい。 富士山の湧き水で作った野菜、果物以外に、パンやお菓子、レストラン、キッチンカーなど、手軽に食べられるものを増やした方が良いと思う。	本施設は、地域経済の活性化や観光振興の中心的な拠点として、今後、公共交通の利用促進や、周辺のインフラ整備計画を推進することで、市内全域への回遊性を促し、来訪者がよりアクセスしやすい環境整備を目指していきます。 また、地元の特産品を活かした商品開発や地域の歴史・文化を体験できるイベントなど、本施設の独自性を持たせることで、既存店舗と差別化を図っていきます。 今後、多様なニーズに応え、全ての来訪者が満足し、楽しめる施設整備を目指して、基本計画を進めていく中で、具体的な導入機能や各エリア面積などを検討していきます。	参考とする意見
4 8	様々な面で御殿場の魅力が伝わる良い事業だと思う。 わくわく、いきいきゾーンはイベント等で利用計画されているが、他のゾーンより少し狭いと感じ、周辺的环境が水田であるため、景観上、本施設との調和が気になり	現時点での各ゾーンの想定規模や機能は、構想イメージであり、今後、様々な導入機能を検討していく中で、各ゾーンの具体的な規模や各面積等を決定していきます。	参考とする意見

	ます。	また、建物の景観デザインや色彩、植栽計画等に配慮し、富士山や本施設周辺の自然環境と調和を図ります。	
49	ゆらゆらゾーンで、木育体験「ごてんばっ木スプーン作り」を開催し、参加者がやすり掛けをしたり、スプーンに好きな絵を書いたり、名前等の文字を彫ったりできたら良いと思う。	本市は、市内の森林資源の保全や活用、地元木材「ごてんばっ木」のブランド化を図り、「木育」を推進しております。 「木育」体験は、本施設への来訪者が御殿場の自然を体感し、本市の魅力を感じる有意義な取り組みであります。 今後も、様々な地域資源を活用した取り組みを検討し、本施設が地域の魅力を発信する重要な役割を果たすような施設整備を目指していきます。	参考とする意見
50	水をテーマにしている施設であるため、室内プールの整備をして欲しい。 市内のフリープールは、「ふれあいプール玉穂」ぐらいしかないため、室内プールの整備により、多世代で楽しめることができると思う。	本施設は、本市の全ての産業の源であり、これまでの発展に大きく寄与してきた富士山の恵み「水」に着目し、地域の特色を活かした体験や、多世代で楽しめるアクティビティの提供など、多種多様なニーズに応えられる有効かつ効果的な機能を検討しています。 なお、屋内プールの整備は、事業費や施設管理費など、採算性や費用対効果等を鑑みると、現状、	反映できない意見

		整備は難しい状況と考えます。	
5 1	いきいきゾーンにて、フェスやフリーイベント、音楽ライブなどが開催でき、屋台で買った食べ物を食べたり飲んだりしながら楽しむことのできる施設整備をして欲しい。 子ども達が楽しめるような戦隊モノやキャラクターのイベントなどを行い、幼児から若者を主な対象としたイベントを開催することによって、若年層の誘客につながると思う。	「わくわくゾーン」は、地域のイベントや祭り、フェスなどの大型イベントの開催など、多世代で楽しめ、来訪者にとって心躍る体験や、様々な活動の場を提供したいと考えています。 今後、本施設整備の重要なエリアとして、多角的な視点から必要な機能を検討し、施設の賑わいと集客力を兼ね備えた施設整備を目指していきます。	参考とする意見
5 2	御殿場の「水」のコンセプトにとっても魅力を感じ、御殿場の水について、とても良い水だと再認識すると共に、もっと知りたいと感じたため、施設内に御殿場の水についての魅力情報などを発信できると良いと思う。	富士山の恵みである「水」は本市の大切な地域資源であり、富士山の伏流水から、御殿場コシヒカリやわさび、水かけ菜など多くの農作物や特産品がブランド化されています。 本施設では、御殿場の生活や文化に深く根付いている「水」をテーマにした商品開発や情報発信の強化を図り、多くの来訪者に御殿場を身近に感じ、知っていただく機会を検討していきます。	参考とする意見
5 3	(仮称)富士山の恵み産業パークへアクセスは、電車を利用する観光客もいるため、御殿場プレミア	本施設内には、シャトルバスや送迎バスなどの停留所を整備計画し、市内	参考とする意見

	ム・アウトレットのような無料送迎バスが欲しい。 御殿場プレミアム・アウトレットへの観光客は、富裕層が多いため、本施設との差別化を図るため、商品等の金額設定は安くした方が良いと思う。	の大型観光・商業施設や主要施設間を定期的に運行することで、本施設だけに留まらず、市内全域を回遊できる公共交通の整備を目指しています。 今後、シャトルバスや送迎バスなどの運行ルートや運行頻度等を調査し、市場の競争力に応じた適切な価格帯を検討していきます。	
5 4	若者は、自然と親しんだ体験などよりも、ショッピングや映画を好むため、自然と親しむ空間も良いと思うのだが、ショッピングモールなど、多世代で楽しめる整備をした方が良いと思う。 また、御殿場には、スポーツができる場所が限られていると感じるため、無料で使用できるバスケットコートやバレーコート、テニスコート、卓球、サッカー場、陸上競技場、スケート場、バッティングセンターなどを整備すると、人気施設になると思う。	本施設は、観光振興や地域経済の活性化の中心的な拠点として、単に買い物をする場だけではなく、御殿場独自の様々な魅力を創出し、来訪者に新たな価値を提供することによって多世代で楽しめ、地域振興や地域愛を醸成する施設整備を目指します。 また、スポーツ交流によるまちづくり「スポーツタウン御殿場」を掲げ、様々な地域課題の解決に取り組んでおり、今後、来訪者が楽しめるスポーツイベントや市民の健康促進に寄与するコンテンツを検討していきます。	参考とする意見
5 5	御殿場プレミアム・アウトレットから帰宅する観光客をターゲットにして、施設内に休憩できる場所を整備すると良いと思う。	心とまかせ、リフレッシュできる環境づくりは、来訪者が心地よく快適に過ごせ、満足度が高く、本	参考とする意見

	国道２４６号を通行する運転手が認識しやすい本施設への案内看板等の設置や、施設周辺や富士山の景観上、電線が少し邪魔になると思う。	施設の魅力を向上させる大切な機能であります。 また、本施設への誘客は、市内主要幹線道路への施設案内看板の充実が重要であり、外国人観光客にも配慮した多言語対応の必要性も感じています。 さらに、富士山や本市の美しい自然環境を保つための景観改善策を、今後、国や各関係企業と協議していきます。	
５６	バルやビアガーデンは、少し遠出しなければ行けないので、夏や冬の夜間イベントとして、施設内にバルやビアガーデンを整備して欲しい。	本施設を訪れる来訪者に特別な空間や魅力的な体験を提供することは、施設の知名度向上や、リピーター確保の上で、大変重要な要素となります。 本施設運営は、夜間運営は想定していませんが、今後、季節限定の企画イベントとして、バルやビアガーデン開催など、賑わいや交流を創出する場を検討していきます。	参考とする意見
５７	御殿場プレミアム・アウトレットへの観光客が、帰宅時に本施設へ立ち寄る可能性が高く、足の疲れを癒すために、富士山の水を温めた足湯を整備すると良いと思う。	御殿場プレミアム・アウトレットへ訪れる多くの観光客が、本施設へ立ち寄る機会を創出することは、施設運営上、集客力の確保と地域経済の活性化の観点から、大変重要と考えています。 今後、御殿場らしい、御殿場ならではの心和む機	参考とする意見

		能など、差別化を図りながらお互いに連携し、両施設にとって相乗効果を図れる方法を検討していきます。	
58	ペットが自由に走れたり、楽しめる施設整備をして欲しい。 例えば、わくわくゾーンでは、ドッグランを設置し、いきいきゾーンでは、ペット商品の販売、ゆらゆらゾーンでは、ペットのお散歩コースの設置やペットも入れる宿泊施設の設置、うきうきゾーンでは、ペット専用駐車スペースを確保、じわじわゾーンには、御殿場の木材「ごてんばっ木」を使ったペット用品が作れる体験場を設置したい。 ヒト・モノだけが行き交うのではなく、ヒト・モノ・ペットも行き交う場所にし、より多くの人々との交流する場にしたい。	5.1 (1)「基本理念とゾーニング」において、ドッグランなどの機能イメージを記載していますが、近年、ペットと共に過ごす時間が重要視され、人気のある観光地では、ペット同伴での旅行や観光を楽しむことができる施設が増えています。 ドッグランの整備により、ペットの健康促進やストレス解消、飼い主同士の交流の場を提供することができ、ヒト・モノ・ペットが行き交う場所として、他では味わえない多様なふれあいを生む場の創出を検討していきます。	参考とする意見
59	(仮称)富士山の恵み産業パークで、1日中過ごせるような整備をして欲しい。 また、チェーン店ではなく御殿場の特産品を使った飲食店やフードコートなどを整備すれば、御殿場の特産品について知るきっかけとなり、御殿場プレミアム・アウトレットと差別化と図れると思う。	本施設は、御殿場の魅力を感じ、御殿場をまるごと楽しみ、味わい、観光客や地元住民が集いながら、コミュニティを創出する重要な観光拠点となります。 地元の新鮮な食材を使用した料理の提供や、子どもからお年寄りまで1日	参考とする意見

		中楽しめる様々な機能を整備することで、多世代に渡って多くの人に愛され、地域経済の活性化に寄与する魅力的な施設整備を目指していきます。	
60	わくわくゾーンに、富士山の形をモチーフにした写真を撮るスポットを整備し、その場所を聖地化して欲しい。	富士山は日本の象徴であり、多くの人々にとって特別な存在であると共に、本市の観光資源として大変重要な存在であります。 今後、本施設から撮影する富士山の眺望に付加価値をつけることで、来訪者にとって特別感を感じ、満足度を高める機能を検討していきます。	参考とする意見
61	市内に長期間滞在してもらうために、宿泊できる施設を整備した方が良いと思う。 宿泊施設の整備によって、観光客も長期間滞在でき、御殿場プレミアム・アウトレット以外の市内施設へも来訪する機会が生まれると思う。 また、避難場所としての整備計画は有効だと思うが、具体的な避難計画が不明確である。	本施設運営は、周辺住民の生活環境への影響等を考慮し、夜間運営は想定していないため、計画敷地内への宿泊施設の整備は運営上難しい状況ではありますが、本市を訪れる多くの観光客を、市内全域へ回遊させ、通過型観光から着地型観光へ転換していくことが、市全体の観光・商業振興や地域経済の活性化を図るために重要であります。 また、今後、施設整備計画を進めていく中で、本市の防災機能強化に取り組み、具体的な避難計画	反映できない意見

		や避難所運営の方針を明確化する作業を進めていきます。	
6 2	「米」「わさび」「水かけ菜」「お茶」「さつまいも」など、季節に応じた農作物を植ることや、実際に収穫体験をすることで、大人から子どもまで幅広い年齢の人々に、御殿場の特産品や魅力を知ってもらうことができると思う。	本市は、豊かな自然環境と、富士山の恵みの「水」で育った多種多様な農作物に恵まれた地域であり、地域の特産品の魅力を広く知っていただくことは、地域振興や観光促進において大変重要な取り組みであります。 地元の農産物の栽培や収穫体験は、来訪者にとって貴重な経験であるため、今後、御殿場独自の地域交流を促進する方法を検討していきます。	参考とする意見
6 3	老若男女問わずスポーツや体を動かすことができ、ウォーキングやランニングなど、生涯スポーツ施設を整備することで、市民の健康促進と、健康寿命が延びると思う。	本施設は、地域の交流拠点としての機能を有し、スポーツや体を動かすための機能を併設することで、市民が日常的に運動を行う環境や、気軽に体を動かす機会を創出し、健康促進や体力向上に寄与します。 今後、世代を超えた交流や地域コミュニティの活性化を促進し、地域の絆を深める機能を検討していきます。	参考とする意見
6 4	(仮称)富士山の恵み産業パークが、若者が働きたいと思える就労環境を創出し、企業間の協力体制を構築することによって、地域経	本施設は、地方創生に貢献する観光業をはじめ、若者が興味をもつ多種多様な業種が集まり、地域	参考とする意見

	済の発展に寄与し、市民の生活水準が向上するきっかけになって欲しい。	内で、多くの雇用機会を創出します。 また、デジタル技術を導入することで、効率的な業務運営や新たなビジネスモデルを創出し、若者が働きやすい環境づくりを推進していきます。 今後、本事業整備により、様々な企業・団体が協力・連携しながら、地元の特産品の新たな販路を開拓し、地域経済の活性化を促進する体制づくりを検討していきます。	
65	#3のゆらゆらゾーンは、癒しの場であるため、マッサージなど、身体的にも満たされる機能があると良いと思う。 また、内装に御殿場の木「ごてんばっ木」を使うことにより、施設内の雰囲気や木の香りが伝わり、木に触れることで木育を感じ、自然界限の人や若者に魅力的な施設となると思う。	「ゆらゆらゾーン」は、ゆったりと心和む空間として癒しを提供し、リラクゼーション効果により、心身の満足感が得られ、リフレッシュできる環境を提供します。 また、木は温かみと自然の力を感じる素材であり、施設内に木の香りが漂うことで、来訪者にリラックス効果を提供します。 本施設は「木育」推進の観点からも、木に触れたり、木を学ぶ機会を創出し、地域資源の活用や林業振興にも寄与しながら、地域経済の活性化を目指していきます。につなげていきます。	参考とする意見

6 6	御殿場プレミアム・アウトレットは多くの人が集まり、集客に力を入れていると感じるが、駅前の集客や、賑わいにも力を入れて欲しい。 駅前は、御殿場プレミアム・アウトレットや、御殿場高原 時之栖に次ぐ賑わいのある場所だと考えており、カラオケの他にもゲームセンターなどの若者が訪れやすい施設を整備して欲しい。 また、駅前のお店は、少し大人向けなお店が多いと感じるので、もう少し若者向けの施設を整備して欲しい。	市内の大型観光・商業施設は、多くの観光客を惹きつける魅力的な施設であり、これに本施設が加わることで、各施設を点から線、そして面を形成して多くの観光客を、市内全域に回遊させることにより、地域全体の活性化につなげていきます。 駅前に娯楽施設等を整備することは、若者にとって魅力的ですが、現時点では、公設での整備は難しい状況であります。 今後、本施設整備により、中心市街地や大型観光・商業施設を結ぶシャトルバスの運行などを検討し、駅周辺をはじめ、市内全域で賑わいと活気が溢れるまちづくりを目指していきます。	反 映 で き な い 意 見
6 7	五感で御殿場を感じる映画館を整備し、観光客向けに御殿場の観光地をめぐる「４ＤＸ」のような映画で楽しめる施設があると面白いと思う。 観光客向け映画では、実際に五感を使い、水や風、気温、音、視覚を感じるものにし、水は、御殿場の水、音も実際の場所で録音したもの、風は実際の場所で感じた匂いを再現すれば、より御殿場を印象づけられると思う。 また、観光客向けだけではなく、	本施設内に、映画館のような娯楽施設等を整備することは、現時点では難しい状況ではありますが、「４ＤＸ」のように映像配信だけでなく、五感でも感じる体験型映像は、本市の自然や文化などをより深く理解してもらうための効果的な手段として、大変興味深い技術であります。 市内の美しい風景や名所	参 考 と す る 意 見

	市民向けの映画(普通の映画)も上映することで、多くの人を楽しめ、若者が楽しめる場所づくりを創出することで、若者の転出超過抑制にも繋がり、将来、市内の産業を支え、観光客増加により経済活動が豊かになると思う。	など、本市の様々な魅力情報等を映像で紹介する際、よりリアルで臨場感をもたせることが、来訪者にとってより印象的で忘れられない体験となるため、今後も、最新技術を活用したコンテンツの活用方法を検討していきます。	
68	御殿場プレミアム・アウトレットの近くに整備されるため、今まで以上に車の渋滞が起こる可能性があり、交通事故が多発することにより、近隣住人に迷惑をかけてしまう可能性がある。 その結果、(仮称)富士山の恵み産業パークが、迷惑施設になってしまう恐れもあるため、「うきうきゾーン」の駐車場をあまり大きく整備せず、第2駐車場や第3駐車場などを敷地外に整備することにより、駐車スペースの分散化や安全対策を図った方が良いと思う。	ご意見のとおり、整備予定地周辺は、休日や祝日、大型連休時等の交通渋滞が、課題に挙げられます。現在、地元住民からも改善要望をいただいております。課題解決に向けて様々な検討をしています。 今後、本施設整備により、さらに交通渋滞や事故等のリスクが高まる懸念があることから、整備予定地西側の都市計画道路「東部幹線」の延伸や、必要な駐車台数の調査、交通誘導員の配置やシャトルバスの運行など、周辺住民の生活環境や安全の対策を含め、来訪者や道路利用者が快適に周辺道路を利用できる渋滞緩和の対策を、引き続き、検討していきます。	反映した意見
69	御殿場には、中国やアメリカなど多くの外国人観光客が訪れるた	本施設整備は、市内全体の観光振興や地域経済の	参考とする意見

	め、インバウンド需要に対応できる施設整備が良いと思う。 「道の駅」であるならば、駐車場はドライバーの休憩場所として、24時間開放しても良いと思う。	活性化を目指し、近年のインバウンド需要への多言語対応など、全ての来訪者が満足し、満喫できる魅力的な機能を検討しています。 また、周辺住民の生活環境の保護などの観点から、夜間運営は想定しておらず、国土交通省が登録する「道の駅」ではなく、「道の駅」的な機能を持つ、本市の魅力を国内外へ発信できる、御殿場らしい、御殿場ならではの施設整備を目指していきます。	
70	多くのゾーン計画があり、分かりづらく、来訪意欲に結びつきにくいと感じるため、若者から高齢者まで、分かりやすいゾーン名称にした方が良いと思う。 例えば、東西南北で分けることや、地元由来する名称等を取り入れたら、特に、市民に理解しやすくなると思う。 また、手軽に食べ歩きしながら楽しめる施設だと思うので、高校生にも施設へ行きやすい環境整備をして欲しい。	現時点では、基本構想策定の中で、基本コンセプトや基本理念を基に、「水」の動きになぞらえた基本ゾーニングを計画しています。 今後、本施設整備を進めていく中で、施設名称や愛称の公募等を行い、広く意見を求めることで、誰もが分かりやすく、親しみがもて、愛される名称にしていきます。 また、公共交通機関の利用促進や駐輪場の設置など、地元の若者が気軽に訪れることができる施設整備や、手軽に味わい、楽しめる環境づくりを目	参考とする意見

		指していきます。	
7 1	各アンケート結果を見ても、40～49歳、50～59歳の回答割合が多いため、若い世代の観光客や市民の来訪を意識するのであれば、高校生や若者へのアンケートを実施すべきだと思う。	基本構想策定の中で、市民向けのアンケートを実施しましたが、残念ながら、若者層の意見は少ない結果となりました。 この原因は、道の駅的な機能をもつ本施設が、比較的、中高年層に人気があり、よく利用されている現状を示していると想定しています。 本施設は、本市の様々な魅力発信しながら多世代で利用できる施設を目指し、今後、若者層の意見を積極的に取り入れた機能を導入するためのアンケートや、ワークショップの開催を検討し、若者層にも愛され、利用しやすい施設整備を目指していきます。	参考とする意見
7 2	現在、日本は少子高齢化が進んでいる中、御殿場市の年齢3区分別人口割合は、静岡県内でも良いバランスを保っている。 市外や県外からの観光客へのニーズに応えるのも大切だが、特に、10～30歳の若い世代のニーズにあった施設(映画館・ゲームセンターなどの娯楽施設)整備を検討して欲しいと思う。	本市は、年齢3区分別人口の15歳未満の「年少人口」や、15歳から64歳の「生産年齢人口」、65歳以上の「老年人口」の人口に対する割合が良く、県内35市町の内、全て上位に位置し、各年代のバランスが良好な市であります。 特に、年少人口世代は、今後の地域社会を支える	参考とする意見

		重要な年代であり、本施設整備において、若者層のニーズに応えることは、地域への愛着を深め、地域の持続可能なまちづくりや発展に寄与するものと考えます。 今後、本施設の整備計画に、若者層が参加しやすい環境を整え、多世代に渡って全ての来訪者が楽しめ、満足度を高い、魅力的な施設整備を目指していきます。	
7 3	産業というワードが、若者にとって親しみにくいと感じるため、施設名称を、若者に馴染みやすい名前にした方が、集客力が高まると思う。	基本構想策定の中では、富士山の恵み「水」に着目し、その「水」が、本市の全ての産業の源であり、これまでの発展に大きく寄与してきたことから、「(仮称)富士山の恵み産業パーク」と仮の施設名称をつけました。 名称に「産業」を使用することが、若者層に堅苦しく感じられると思いますが、今後、施設名称や愛称の公募等を行い、広く意見を求めることで、誰もが分かりやすく、親しみがもて、愛される名称にしていきます。	参考とする意見
7 4	現代は、見映えを重視する傾向にあり、ゆらゆらゾーンに季節の花を植えることによって、多世代で楽しめる施設となり、来訪者によ	SNSの普及により、魅力的な自然や景観などの視覚的な要素が、来訪者の訪問動機に大きく影響	参考とする意見

	るSNS発信により、多くの人々が訪れると思う。	を与えます。 今後、多くの人々が思わず立ち寄りたくなるような魅力的な要素や、SNSを活用した情報発信など、集客効果を高める方法を検討していきます。	
75	アンケート結果では、全年齢で「おしゃれなカフェでゆっくり過ごすことができる」が3位にランクインしている。 そのため、自然を感じながらリラックスでき、ゆっくり過ごす事ができるゆらゆらゾーンに、おしゃれなカフェを整備すれば、理想のカフェができると思う。	自然豊かな環境の中で、リラックスできる空間を提供することは、来訪者にとって大変魅力的な要素となります。 今後、富士山の眺望や美しい景観を最大限に活かし、大自然を感じながら心地よい時間が流れ、ゆっくりと心和む癒しの場の提供を検討していきます。	参考とする意見
76	御殿場プレミアム・アウトレットへの観光客を中心としたアンケートではなく、御殿場市に住んでいる市民の意見をもっと聞いた方が良いと思う。 市内には、御殿場プレミアム・アウトレットという大きな観光・商業拠点があるため、買いものついでに寄れるところ、気軽に立ち寄れる施設を整備した方が、市民利用しやすいと思う。	基本構想策定の中で、大型観光・商業施設の観光客をはじめ、市民向けのアンケートも実施しましたが、今後、基本計画策定の中で、多くの市民が利用しやすい魅力的な施設整備を目指し、市民の意見を直接聞くワークショップ等の開催を検討しています。 また、御殿場プレミアム・アウトレットへ訪れる多くの観光客を、本施設へ気軽に立ち寄れる仕組みを構築し、市民と観光客双方にとって利便性	参考とする意見

		が高い施設整備を目指していきます。	
77	基本構想（案）に示されているゾーニング以外にも、より御殿場らしいゾーニングを計画して欲しい。	今後、基本計画策定の中で、さらに御殿場らしさを引き出し、御殿場の様々な魅力を発信できる機能を、引き続き検討し、より多くの市民の声を反映させることによって、ここにしかない、唯一無二の施設整備を目指していきます。	参考とする意見
78	本施設は水がテーマであるが、基本ゾーニングからは、水の要素をあまり感じない。 また、御殿場市は、夏は濃霧が発生しやすく、冬は寒いので、屋外機能は、集客に結びつかない可能性がある。	本施設は、来訪者が富士山の恵みである「水」から生み出された特産品や農産物、歴史・文化など、施設全体で「水」を身近に体感できる機能を検討していきます。 また、大型屋外イベント等は、温暖な季節に合わせた開催を計画し、悪天候にも配慮した屋外施設整備など、来訪者にとって利用しやすく、再訪につながる機能を検討していきます。	参考とする意見
79	近年、気象異常により、強風や豪雨が多く、御殿場特有の濃霧が発生しやすいため、建物の構造上、ガラス張りの面積を、もう少し減らした方が良いと思う。 また、災害が起きたら、観光客の一時待機する場にもなる予定であるが、富士山や景色が良く見れる大きなガラス張りにしているため	静岡県内に建物を整備する際、法令上高い耐震基準が求められ、特に、公共施設などの重要な建物は、より高い耐震性能により、万が一の地震発生時にも建物の倒壊を防ぎ、施設利用者の安全を確保できる構造となって	参考とする意見

	耐久性や断熱性が心配である。	います。 今後、建物の設計業務の中で、多くの人に愛される施設整備を目指し、建物の安全性や多様性対応、コスト削減はもとより、景観を尊重したデザインや環境負荷の低減など、様々な要素から総合的に検討し、施設利用者にとって使いやすく、利便性の高い施設整備を目指していきます。	
80	富士山樹空の森や、サービスエリアなどと施設用途が重複している部分があるので、差別化を図った方が良いと思う。	本施設は、単に道路休憩施設でなく、子どもからお年寄りまで多世代が集い、本市の様々な魅力を発信することで、多くの人々が楽しめ、観光振興や地域振興、地域経済の活性化に寄与する施設であります。 今後、地元の特産品を活かした商品開発や地域の歴史・文化を体験できる企画など、御殿場独自のコンテンツや、既存施設との差別化を図り、お互いに連携しながら、相乗効果を発揮できる方法を検討していきます。	参考とする意見
81	わくわくゾーンの整備は、子ども向け、若い世代向けの広場にし、遊具やキッズスペースなどを整備し、親子で楽しむことが出来るようにした方が良いと思う。	「わくわくゾーン」は、敷地内の中心にゾーニング計画され、地域に根差した様々な体験や活動を通じ、来訪者に新たな価値	参考とする意見

	また、わくわくゾーンは、芝生エリアは広く、本施設のメインエリアだと思うが、雨天時の対応も検討するべきだと思う。	値の創造と、心躍る場の提供を目指しています。 また、多目的な利用が可能な芝生広場と建物を繋ぐ回廊の整備を検討し、悪天候にも配慮した施設整備を計画しています。 このエリアで開催される様々な地域イベントや魅力的な体験から、子ども達への地域愛を醸成し、あわせて多世代での交流促進や、地域振興に寄与する施設整備を目指します。	
8 2	水を活かすのであれば、水を活用したテーマパークみたいなものを整備すれば良いと思う。 水遊びができるような場所をつくれれば、市民も楽しめ、市外から来た子育て世代も楽しめると思う。 施設のテーマは、産業パークではなく、多くの人を楽しめる施設にすることが重要であり、その将来、御殿場に住み続ける人が増えると思う。	富士山の恵みである「水」は、本市の宝であり、その恵みを最大限に活かした施設を整備することで、来訪者にとって、より身近に御殿場を感じ、様々な魅力的な体験を楽しむことで、地域交流やコミュニティの創出に寄与します。 また、子育て世代にとって、安心・安全な教育環境の充実を図ることは、将来的にも本市に住み続ける家族が増え、持続可能なまちづくりにつながる施設整備を目指していきます。	参考とする意見
8 3	着地型観光を目指しているのであれば、道の駅以外の施設についても調査したり、多くの人が「行っ	本市に訪れる観光客が長期間に渡って滞在し、御殿場の全てを体験しながら	参考とする意見

	てみたい」「楽しそう」と思ってもらえるような施設機能を検討すべきだと思う。	ら楽しんでもらうためには、本施設の来訪だけではなく、それぞれの特徴を活かした施設間の連携や協力体制を構築し、多くの観光客を市内全域へ回遊させることにより、これまでの通過型観光から着地型観光への強化を促進しながら、市全体の観光・商業振興や地域経済の活性化につなげていくことが重要であります。	
84	子どもや高齢者向けの要素が多いと感じるため、高校生など15歳以上の若者にとって魅力的なゾーンも整備して欲しい。	若者によるSNS等による情報発信が、本施設の知名度を高める手段や観光促進策として効果的であり、施設内のWi-Fi環境などを整備することで、来訪者の利便性向上と施設全体の賑わいを創出し、若者層が気軽に訪れ、地域への愛着を深めながら楽しめ、再訪を促す施設整備を目指していきます。	参考とする意見
85	基本コンセプトの水を、最大限に活かし、御殿場の水が安全や良さをPRし、水の力をうまく活用して相乗効果が得られる体験（噴水ショー）や、水を使ったデザート（かき氷など）の販売など、多世代で楽しめる施設にして欲しい。	本施設では、御殿場の生活や文化に深く根付いている「水」をテーマにした体験づくりや情報発信の強化を図り、多くの来訪者に御殿場を身近に感じ、知っていただく機会を検討していきます。今後、豊かな水資源を活	参考とする意見

		かした多様な機能を検討し、御殿場の「水」を最大限に活用し、多世代で楽しめ、多種多様なニーズに応えられる施設整備を目指していきます。	
86	御殿場プレミアム・アウトレットの観光客を、本施設へ誘客するのであれば、整備予定地は、御殿場インターチェンジ付近で良いと思うが、市民が交流を深めるという基本コンセプトからすると、現計画地はアクセス上、立地が悪いと思う。	整備予定地は、東名高速道路 御殿場インターチェンジ付近に位置し、来訪者にとっても交通アクセスが良好な立地であることから、多くの集客効果が期待できる場所であります。 また、市民の生活環境の保護や交流促進を図るため、シャトルバスの運行や公共交通の充実を含め、本施設への利便性の向上と、来訪者が快適に利用できる方法を、検討していきます。	参考とする意見
87	本施設が、誰に対して需要があるのか、明確なターゲット層が不明確であり、本施設機能を、既存の施設で賄うことはできないのか再検討して欲しい。	本施設整備は、観光振興と地域振興などに寄与する施設として大変重要な事業となります。 さらに、ターゲット層は特定の世代だけではなく、多世代に渡って全ての来訪者が楽しめ、御殿場の魅力を存分に感じていただける機能を、引き続き多角的な視点で調査していきます。 本施設が、地域の賑わいと集客力を兼ね備え、本	参考とする意見

		市の中心的な観光拠点として、既存施設では実現できない独自の機能やサービスを提供し、周辺施設と連携を図りながら、地域全体の活性化を目指していきます。	
88	施設内にチューン店や、アパレルショップ等も出店する複合施設を整備した方が、集客力が見込めると思う。	整備予定地近郊には、全国でも人気のあるアパレルブランドや飲食店が並ぶ大型観光・商業施設があり、今後、本施設の独自性を持たせることで、既存施設と差別化を図り、お互いに連携していくことが重要であります。 今後、御殿場の特色を活かした新たな観光拠点として、地域の特産品や観光情報をはじめ、憩いや安らぎ、地域の触れ合いの場を提供し、多世代で楽しめ、多くの賑わいや地域交流を促進しながら、地域振興に寄与する施設整備を目指していきます。	参考とする意見
89	水に関する施設の Mascot を製作し、関連商品も開発することによって、本施設の広報コンテンツが増え、知名度と集客力が向上すると思う。	本施設の知名度や集客力を向上させるためには、戦略的かつ的確な施設運営や、人々の心を惹きつけ、親しみやすい機能の導入など、地域の魅力を高める様々なコンテンツが必要であります。	参考とする意見

		今後、本市の地域資源を最大限に活用し、市民と観光客が共に楽しめる企画イベント等の開催や、効率的な広報活動を展開することで、本施設への親和性や愛着を創出し、御殿場のブランド力強化につなげていきます。	
90	観光客及び市民アンケートの全年齢1位の回答に「御殿場市の特産品や食材等を買うことができる」が挙げられているが、御殿場の特産品を、富士山の恵みの水で調理する「御殿場の水と特産品を使ったB級グルメイベント」を提案したい。 静岡県内では、「しず旅のスタンプラリーの人気スポット」「静岡市のグルメ観光推進」「ふじのくにガストロノミーツーリズムの展開」等が開催されており、グルメイベントを目的とした観光客に関心が高く、御殿場の魅力を最大限に伝ええることができ、観光客の市内滞在を促すことができると思う。	本市には、富士山の恵みの「水」の恩恵を受けた美味しい農産物や特産品が豊富にあり、地元で生産された新鮮な食材などを活用したグルメイベントの開催などは、地域の食文化を広めると共に、御殿場の魅力向上に貢献します。 今後、御殿場の様々な特産品や郷土料理などを堪能できる御殿場独自のイベント等の開催や、市民と観光客のふれあいや交流機会を創出し、全ての来訪者に愛され、満足できる機能を導入することで、市内全域への回遊性と地域内消費を喚起しながら、地域経済の活性化を目指していきます。	参考とする意見
5	意思決定後の策定案の内容	(資料添付)	
6	意見の公表先	市ホームページ 未来プロジェクト課、情報公開コーナー	

担当課	御殿場市企画戦略部未来プロジェクト課 TEL : 0550-82-4349 メールアドレス : mirai@city.gotemba.lg.jp
-----	--